
**Ternium Mexico 社の新設熱間圧延設備に
モータ・ドライブシステム及び制御・モデルソリューションを一括納入
ー自動車用鋼材や高強度ラインパイプ用鋼材などの高機能鋼材の安定した増産へ貢献ー**

東芝三菱電機産業システム株式会社(以下、TMEIC)(社長:山脇 雅彦)は、Ternium Mexico(テルニウム・メキシコ)社 Pesqueria(ペスケリア)工場に新設された熱間圧延設備向けに、設備の生産性及び製品品質を向上させる最新のモータ・ドライブシステム及び制御・モデルソリューションシステムを納入しました。

Ternium Mexico 社は、鉄鋼・石油・ガス・建設等の事業を手がけるアルゼンチンのテチント・グループの中で鉄鋼事業の中核をなす企業であり、Pesqueria 工場は Ternium Mexico 社のメキシコ国内における最大の工場です。同工場は普通鋼に加え、近年需要が高まっている自動車構造用鋼材や LNG 輸送用高強度ラインパイプ用鋼材などの高機能鋼材を含む多種多様な鋼材を増産するため、最新の熱間圧延設備を導入しました。

TMEIC はこの多種多様な鋼材の増産に対応するため、鉄鋼生産に関する豊富な知見・エンジニアリング力をベースに開発した最新鋭のモータ・ドライブシステム、及び制御・モデルソリューションシステムを納入しました。今回納入した製品・システムの特長は以下です。

- 1) 高力率・高調波低減・高効率を実現した統合ドライブ装置「TMdrive シリーズ」を採用し、モータ・ドライブ装置用変圧器・モータコントロールセンター等を最適に構築
- 2) 高精度の製品板厚、板幅、温度、材質の実現と安定操業に貢献する最新鋭の「制御システム」
- 3) 製品品質と歩留まりの向上を実現する最新の材質予測システム「MPPS: Material Properties Prediction System」

TMEIC はこれら同設備に対応した製品、システムを受注後、納入・現地での立上げ作業を完了し、その他の工事完了後の 2021 年 5 月から稼働を開始しています。その後、同工場は順調に稼働、生産量を拡大しており、今後、年間 400 万トン以上の生産が見込まれています。

執行役員 産業第二システム事業部長 植草 和彦コメント:

「TMEIC は、Ternium Mexico 社を含む中南米の多数の鉄鋼プラントに熱間圧延設備を納入した実績を有し、お客様の各プラントの生産計画に応じて最適な圧延制御を提供してきました。今回、Ternium Mexico 社の高機能鋼を含む多種多様な鋼材の安定増産と生産性の向上という経営方針に対し、TMEIC が保有する制御技術・知見によりその実現に貢献できたことは大変光栄に思います。我々は、今後も保有する技術を最大限に提供し、プラントの効率化・高性能化に貢献していきます。」

今回新設された熱間圧延設備



TMEiC が納入した電動機



TMEiC が納入したドライブシステム



報道関係からのお問い合わせ先

東芝三菱電機産業システム株式会社 経営企画本部 ブランド企画グループ <https://www.tmeic.co.jp/>

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン Tel: 03-3277-4319 Fax: 03-3277-4578

TMEIC(ティーマイク)は、社会を支える基盤である「ものづくり」の現場ニーズにお応えするために、社会の発展と美しい地球環境とを調和させる産業システムインテグレータとして、「産業」「社会」「環境」の未来を常に見据えています。工場・プラントにおいて原動力となっている回転機、電力を変換・制御するパワーエレクトロニクス、そしてプラント全体を計画し実現するエンジニアリング、これらの技術をコアに、ものづくりと環境マネジメントに最先端の技術で貢献していきます。